

### より良い社会参加を目指して

私たち障害者が一人の当り前な労働者として、社会に認めてもらうには、障害者を取り巻く職場環境・雇用条件や障害者自身における体力、健康上の問題など「障害者雇用促進法」や「障害者差別禁止法」が言われている現在社会でも、まだまだ取り払うべき壁や差別が数多く存在していると考えられます。

8月末のある日、私がいつものように工房での勤務を終え、17時40分武庫川発の急行に乗り、自宅の最寄り駅の阪神西宮駅で下車し改札口に降りるエレベータに乗った時、年配の女性の方が乗ってこられて、私がエレベータの中で方向転換をしようと思ったとたん、「何するの？ こんなことしたら怖いやろ。あんたみたいな訳が分からない子が一人で電車に乗るべきとちがう。」とかなり罵声を浴びさせられました。

その方、武庫川から同じ電車に乗車していて、近くの座席に座っておられたということもあって電車に乗っていたときより、私の方を睨みつけてきたり、西宮駅の改札口へ向かうエレベータに乗る前にも「障害者が一人で電車に乗るのはよくない」とか繰り返言われていたこともあって、私はかなり腹が立ってしまい、その方に言い返そうとしたのですが、言語障害がある私の言葉はなかなか女性の方には伝わらず……。余計にエスカレートされてしまい、近くにいた乗務員の方に「この子エレベータの中で暴れるし、何するか分からないし怖いわ。こんな障害がある子一人で電車に乗せるべきではない」と大声で言われていました。

対応した乗務員も乗務員で「迷惑行為」を受けたのは私の方なのに、女性の方をかばうようにして、私に「やめてください」と私が怒っている訳も尋ねようともして貰えずに、反対に悪者のようにされてしまいました。

工房が開所してから、もう4年半あまり「西宮～武庫川間」を毎日電車通勤していますが、こんな出来事に遭遇したのは初めてだったのでショックを隠しきれずに改札をあとにしました。

阪神電車は、私にとっての「通勤や通院の足」なので本当に毎日心地よく利用したいという思いで、帰宅後阪神本社にメールにて抗議しました。

工房の通勤途中の出来事だったので、広瀬代表理事にも報告・相談し、「阪神は毎日通勤で利用する交通機関やし、こんな経験は二度と他の障害を持つ仲間にして貰いたくないので、阪神からの回答メールを待って職場として抗議を申し出よう」という結論になりました。

阪神からの回答メールを受けた以降、何回か代表理事に阪神の営業企画課の方と電話でやり取りしてもらっていた間に阪神側から「当日、対応した乗務員を特定することができ、事実確認をすることができました。曲様がメールで書かれていた事実通りの不十分な対応をしてしまって、本当に申し訳ありませんでした。一度、謝罪をしに職場に伺いたい」という申し出がありました。

阪神は、駅が新しく高架となるたびに、他の電鉄会社よりもいち早く、エレベータや車いすトイレを整備したり、また最近では駅員の「介助サービス士」の育成に力を入れるなどの庶民的な会社なので、事実を追求し攻めるのではなく、障害者の正しい接し方を分かって貰おうとスタッフ3人で出迎えました。

当日、阪神電鉄から2名の方が工房に謝罪に来られて、再度私の方から「世間の人々は、障害者 = 働けなくて、絶えず家か施設で守られるべき人々という固定概念がまだまだあるから、駅員さんや乗務員さんからでも1人の通勤客として接してほしい」とお願いしました。乗務員・駅員への研修としてきちんと取り組んでいただくことを確認しました。

まだまだ私のように、毎日朝・晩の通勤ラッシュ時に車いすで通勤している障害者は少なく、他の通勤客や通学している学生に「わざわざラッシュ時に車いすで乗らなくてもいいのに……」という冷たい視線を感じる事がしばしばあります。

社会に障害者も「1人の尊厳ある労働者」として認めてもらうためには、くじけず一般の通勤客に混じってラッシュ時の電車に乗って普通に通勤したり、諦めずに「働きたい」と思い続けたりすることなど、私たち障害者自身もそれなりにアクションを起こすことが大事だと今回のことを通じて、強く思いました。 (曲 圭子)

### 11月・12月の予定

11/7(土) 市民福祉の集い  
橘公園噴水広場

※ 来年のカレンダーと東北の作業所の物品を販売します。

12/21(月) クリスマス会  
12:00～15:00

※ 今年も忘年会を兼ねたクリスマス会を予定しています。皆さんで楽しく盛り上がりたいため、ご参加ください。



## 市民まつりに参加してきました・・・



先月 11 日に「尼崎市民まつり」があり、当工房は東北障害者作業所の製品を販売するブースを出店しました。

例年なら、市民まつりは市役所一帯で開催されるのですが、来年「尼崎市制 100 周年」の年にあたり 100 周年の式典がアルカイクホールでされることから阪神尼崎周辺一帯で開催されることとなり、私たちはアルカイクの芝生広場に設けられた「東北交流広場」にブースを出しました。

東北広場には、私たちのほかに福島原発事故で子どもと神戸などで今も避難生活を続けているお母さんたちのサークルや東北の特産品を販売するブースが立ち並んでいました。

私たちも、いつも市民まつりなどのイベントで販売しているクッキーやかりんとうなどに加え、今回は限定で 20 個の東北障害者作業所の工房地球村で作られた「イチゴジャム」を販売しました。

「東北作業所の授産品販売支援」は、震災が起きた 2011 年秋より、もう 4 年半続けさせて貰っていることもあって、多くの市民の方々に知って頂いて、「今年も買いに来たよ」と言って頂き、一人で味みそ 6 個やかりんとう何袋も買って頂いた方もおられました。

市民まつりに来ていた人の中には、東北生まれ・育ちだという方も何名かおられていて、「あそこの障害者施設の私の地元の施設で知っているのだけど、こんな良いものを作っていると思わなかった。」と懐かしく商品を手に取り、購入して下さった方もいました。

今回は、人通りが多い阪神尼崎一帯で開催されたことで、例年よりも賑わいをみせて、売り上げもいつもより 1 万ほど多い 5 万円もありました。有難うございました。

売上金は、皆様の一人ひとりの思いと共に東北の作業所の方々にお届けします。

またまた東北の沿岸部では、震災直後の荒地のままのところが多く、完全に震災から復興するには、まだまだ遠いさきになりそうというお話をよく耳にします。

今後も物品販売支援を継続していくことによって、東北の 1 日でも早い復興を願っています。



### スタッフたまのつぶやき Windows10 の話

近頃、いろいろとメディアでとりあげられたり、CMなどでご存知の方も多いたと思いますが、新しいマイクロソフトの OS である Windows10 が本格的に秋モデルのパソコンから標準に搭載されるようです。これからパソコンを新しく買い替えたり、買う予定のある方はこのバージョンが主流となっていくでしょう。

パソコンを買い替えた時、いつも問題になるのは、インストールして利用するアプリケーションソフトやプリンターなど今まで使っていたものが、使えなくなる互換性の問題です。各製品メーカーも新製品が出る度、随時、対応策を打ち出しており、普及が進むにつれて改善されていくと思いますが、個人的な最低限の対策として、

- ① 保存している写真や文書などの大切なデータをバックアップ (USB や外付けハードディスクなどにコピー) しておくことが重要といえます。普段のデータの保存にもいえることですが、2 か所以上に保存しておくほうが安心です。
- ② メールやネットサービスに使っているログイン名とパスワードを確かめて書き留めておくことも必要です。

ご承知の方もおられると思いますが、ふと思ったので、書かせて頂きました。  
(浦部 吉久佐)

### ふらっと散歩写真

10 月の末日の日曜日、武庫川コスモス園に行きました。

秋晴れの晴天にも恵まれて、コスモス畑に色鮮やかに咲き並んでいるコスモスを見に家族連れやカメラ愛好家で賑わっていました。

